

## ■ 本店様 漏水調査報告書

### ○漏水調査内容

平成22年11月10日に漏水調査用バルブを下記のように設置し、漏水箇所の特定を判断のため設置いたしました。(別紙参照)

水道メータから1階倉庫の地下受水槽までの既設給水管(50A)の中間箇所にバルブを設置、そのバルブからメータ側をA区域とし、受水槽側をB区域とします。

漏水箇所調査の方法として、中間箇所の設置したバルブ側に水圧計をA区域・B区域に設置して圧力による漏水調査を実施いたしました。(テスト水圧0.43MPa加圧)

[補足]

テスト水圧0.43MPaの設定理由については、既存配管の劣化が非常に厳しいために水道局水圧と同水圧で実施いたしました。

(A区域)

・13時40分～14時00分まで水圧変化無し

(B区域)

・14時10分～14時30分まで水圧計(0.43MPa→0.2MPa)に変化が生じたので、漏水箇所はB区域と判断いたします。

11月10日から11日にかけて、B区域の漏水箇所の究明のため機械室及び地下受水槽の配管周りを調査実施いたしました。

再調査の結果、屋上高架水槽から各階の本給水管に水道メータ以降のメイン配管がバイパス弁にて接続してありました。このバイパス弁からも管ねじ部錆より多少の漏水も発見されましたが漏水究明のために再度このバイパス弁の配管部をプラグ止めした後、B区域の水圧調査を実施いたしましたが、初回同様の圧力損失が見受けられました。

この結果、今回の漏水箇所の原因につきましてはB区域の複数の隠蔽配管部(コンクリート埋設部分含む)が原因と思われます。

よって、今回の漏水改善工事といたしましては、別紙の配管予定箇所を露出配管にて施工いたします。(B区域の露出配管の劣化部分含む)

以上

株式会社ジーワイテック  
環境設備事業部

[現場写真]

漏水調査用バルブ



漏水調査バルブ



A区域漏水テスト



B区域漏水テスト



バイパス弁漏水箇所



バイパス弁プラグ止め

